



あなたと結ぶ 議会情報誌

3月
定例議会

おまほいしょうの=わんかん

最上町 議会だより

平成29年4月26日 発行

No. 156



大堀小学校入学式当日
教室での子どもたちの様子

予算の使い道...2~3	新年度の主な事業...4~5
議案審議...6~10	一般質問...11~15
最上広域市町村圏事務組合報告	特別委員会中間報告...16
請願提出 議会傍聴 教えて議会...17	議会の動き 編集後記...18



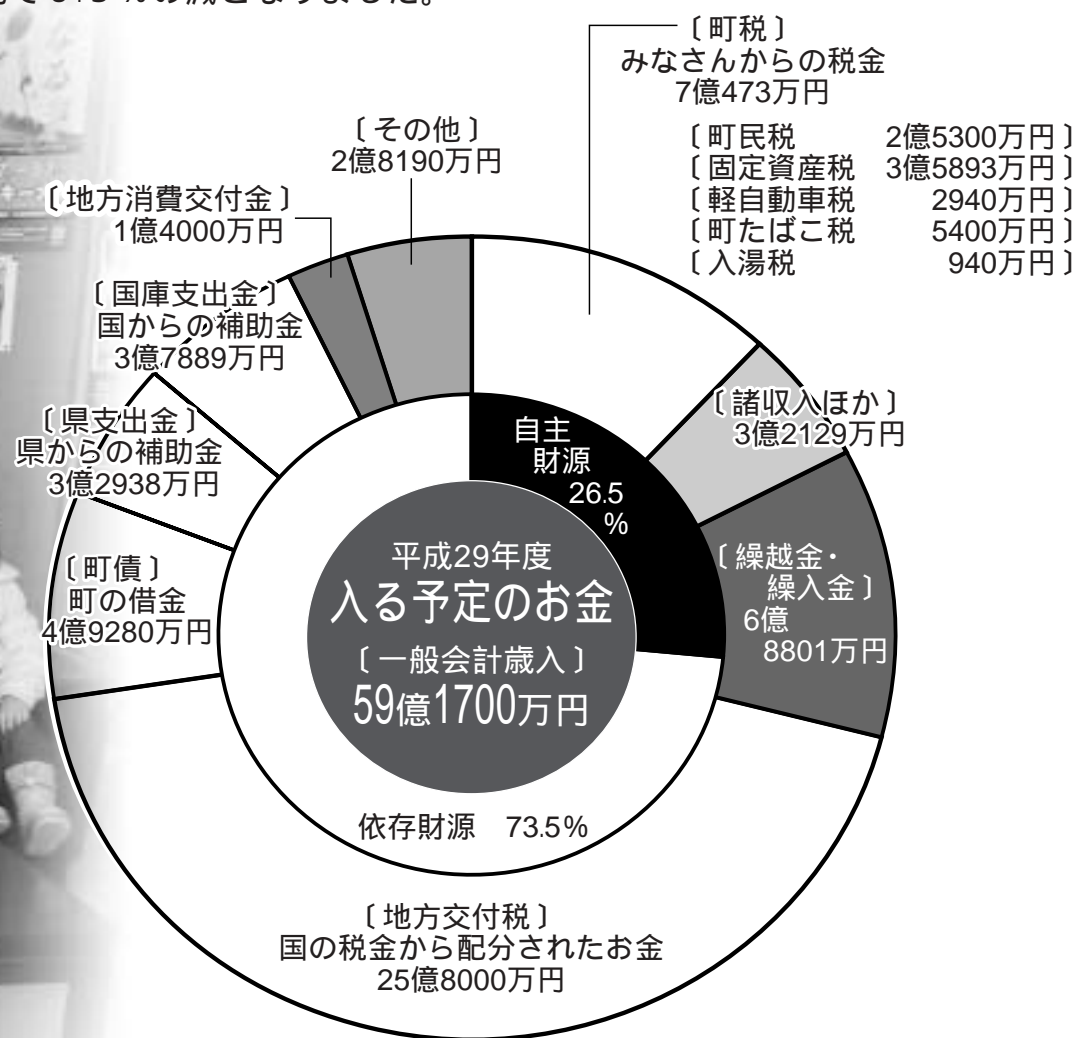
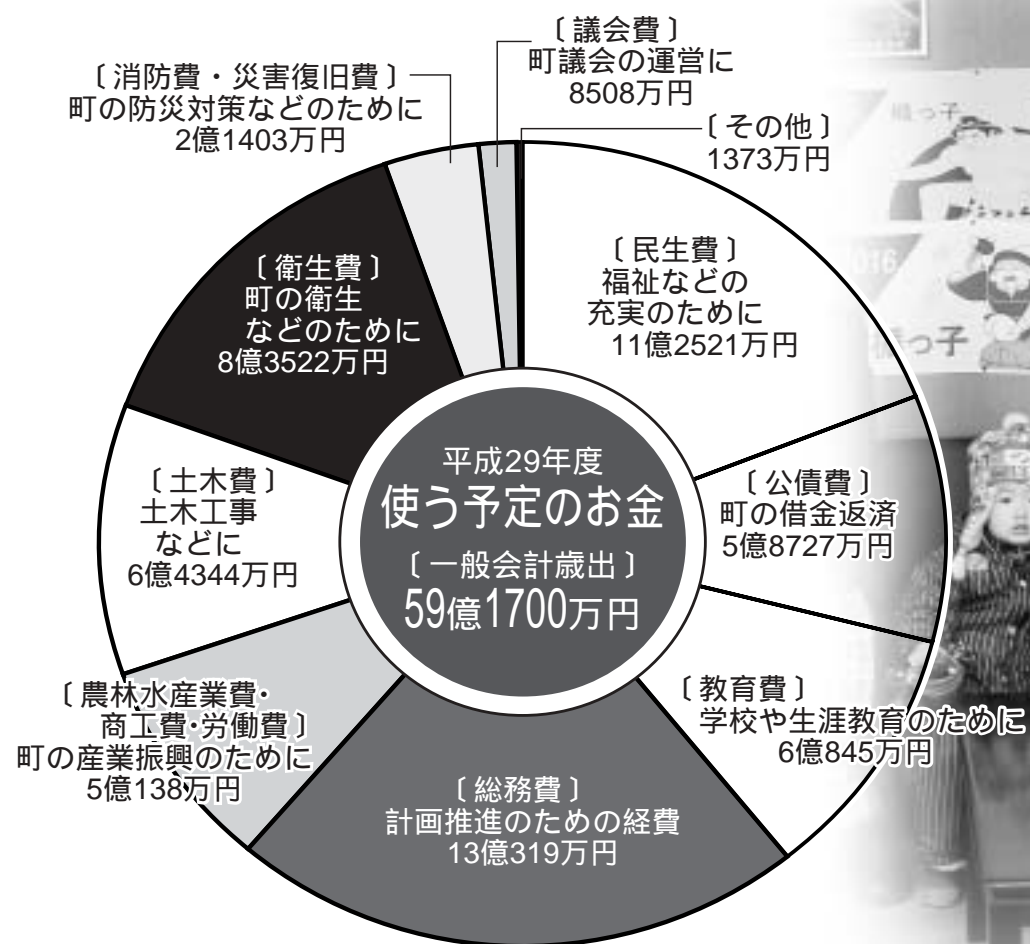
時代の転換期 縮小予算! その使い道は?

総額 109億9922万円

一般会計 59億1700万円

特別会計 50億8222万円

平成29年3月定例会を、3月7日から17日までの会期で開きました。今回は、平成29年度予算を中心に、条例の制定や改正、補正予算など提出された38の議案を慎重に審議し、原案どおり可決しました。このうち町の仕事の大部分を占める平成29年度一般会計予算は、59億1700万円となり、前年度当初予算対比で8.3%の減となりました。予算の執行にあたっては、最小の経費で最大の効果が得られるよう多くの意見を提案しました。



国民健康保険事業	12億9900万円	水道事業	4億1999万円
後期高齢者医療事業	1億430万円	瀬見温泉管理事業	1113万円
介護保険事業	12億3977万円	農業集落排水事業	2106万円
最上病院事業	13億1706万円	下水道事業	1億9945万円
介護老人保健施設事業	3億4714万円	浄化槽事業	1億2332万円

新年度主な事業「基本政策」に難問・課題も!!



子育て



6 子育て世代包括支援事業 205万円

経験豊富な保育士、保健師を相談窓口とし育児の悩みや不安の解消に

7 給食センター調理場空調設備整備事業 738万円

食の安全、安心を向上するために、調理環境の改善



8 放課後児童クラブ事業 2883万円

各学校区に配置し、放課後や長期休業時の居場所づくりの拠点として

防災



9 防災拠点施設整備事業 1450万円

備蓄倉庫(今年度は設計)を含む防災拠点を整備し、非常時の食料や資材を保管する



10 土砂災害ハザードマップ 313万円

集中豪雨等で被害を受けるおそれのある危険力所約90カ所の地域を住民に周知する



暮らし

1 小規模水道事業 1515万円

堺田地区の公共インフラ整備



2 町営住宅修繕事業 1000万円

長寿命化を図るため、愛宕団地2棟を修繕

3 町道愛宕山駅前線道路改良事業 5622万円

交通安全の観点から道路を拡幅し利便性を向上



農業



4 戦略的園芸産地拡大支援事業 4224万円

アスパラガスやネギなどの園芸作物との複合経営を目指す農家の設備投資や苗購入を支援



5 農地多面的機能支払事業 1億247万円

農地や農道、水路などの施設を保全管理していく組織に対し、5年間にわたり活動を支援

議案審議

■看護師育成修学資金貸与条例の設定について

問 新しく最上地域で取り組む看護師育成修学資金貸与制度ができたがその内容は？

答 これからの最上地域の医療を支える看護師及び準看護師の育成と確保を目的に制定され、対象



高校生看護師体験学習

者に月額5万円を貸与します。卒業後10年間の内5年間最上地域の医療機関(県立新庄病院は除く)に勤務した場合、返還が免除されます。

■国民健康保険直営診療施設等人材育成修学資金貸与条例の改正について

問 修学資金の対象項目に臨床検査技師を追加するとどうなるか、なぜなのか？

答 現在、臨床検査技師は最上病院で2名勤務していますが、今後更なる高齢化社会をむかえ、町民の安全・安心のために人材確保するものです。

■児童遊園設置及び管理運営に関する条例の改正について

問 現在、向町地区児童公園になっており、防災拠点施設として整備するところですが、どのような施設ですか。

答 平成29年度から2年計画で、備蓄倉庫を兼ねた防災拠点を役場隣りに整備し、非常時に必要となる食料や資機材を保管します。

■学校林の設置及び経営に関する条例の改正について

問 一部、学校林の廃止がありますが、教育目標の中で「学校林を活用し共同作業を学ばせる」について、今後はどのように考えているのか。

答 昭和25年から44年の

間に植栽された所は奥地にあり、近くまでバスを利用することが難しい状況なので、近くの森林を活用した森林学習を考慮しております。

■瀬見温泉管理条例の改正について

問 瀬見温泉公衆浴場の利用客の拡大と、地域住民や観光客などの利便性を図るためとありますが、利用券をどこで購入すればいいのか。

答 カードには利用期限のデータが入り管理されます。瀬見温泉観光協会を通じて購入できます。

■簡易水道事業特別会計設置条例の廃止について

問 簡易水道事業を水道事業へ統合するというこ

人事案件
全会一致で可決

■固定資産評価
審査委員会委員

木田 隆春氏
(向町)

任期

平成29年4月1日から
平成32年3月31日まで

問 この事業を進めることで、町民の方々が不利益にならないのか。

答 現在、水道事業については既に同一料金で運営を行っており、施設稼働及び維持管理も一体で行っておりますので、統合による町民サービスへの影響はありません。

平成29年度一般会計予算質疑

予算特別委員長 二戸 守

平成29年度一般会計予算59億1700万円、特別会計予算50億8222万円までの11議案を審議、3月10日から4日間に亘り、186回の質疑と229回の答弁がありました。

自主財源の確保に努め、町民に分かりやすく説明すべきとの発言がありました。ふるさと納税返礼品やこれからの農業振興、小学校の統廃合には万全の体制で臨み、スクールバスの混乗化や病院への足の確保、高齢者の免許返納等も進めながら平成29年度中にデマンド交通の推進、病院事業は訪問看護、在宅医療を進めたい旨の強い意志の町長の言葉がありました。

最後に、益々進む人口減少の中、3年後、5年後、後の世代に絶対に不安を残さないよう配分を見直し、「健全な自主財源基盤の確立」を確認させられた予算特別委員会であり、原案どおり可決すべきものと決しました。

歳入

問 ふるさと納税の目的寄付金は、不特定財源であるので、収入とみて歳入に計上せずに、特別会計で処理すべきでは。

答 ふるさと納税の目的が、町の事業展開の後押しであることから、目指す町づくりが多数展開される一般会計予算に歳入として見込むことには一定の意義があると考えます。

歳出

総務費

問 地域連携推進交付金、昨年は1地区30万円であり、今年は50万円であるが、増額の内容は。

問 町営バス事業の見直しは、どのような検討をされ、今後の見直しは。

問 ウエルネスプラザ運営費の減額理由は。



最上町特産品
(ふるさと納税返礼品としても活用)

衛生費

問 川の水质調査の内容は？

答 生活排水の水质調査を目的に町内27カ所を実施し、いずれも環境基準値をクリアしています。

農林費

問 鮎等増殖事業支援強化補助金380万円の内容は？

答 舟形町の鮎の孵化場を使用していない期間を利用して、鮎を400〜500kg増殖し、放流量を増やすために小国川漁協へ補助するものです。

問 青年就農給付金受給者の体験談などを冊子にし、担い手確保につなげる考えは？

答 青年就農給付金受給者と認定農業者を集め、先進的な取り組みや悩み

土木費

を話し合う意見交換会を行っています。振り返りも含めた形で冊子ということも検討していきます。

商工費

問 「みつざわ未来創造館らいず」の今後の運営は？

答 産業振興センターが中心となって事業を行っています。地域の方との運営会議より意見を頂き、地域と連携して行っていきたく考えています。

問 地域資源開発加工の昨年の実績は？

答 町のそば粉を使ったクッキーを作りました。大正大学とも連携し里芋の研究、試作を行いました。商品化までには至りませんでした。来年度も新たな商品開発を行っていきます。

問 流水型ダム定礎式実行委員会負担金が計上されているが、これは県の事業であって、なぜ町が負担金を支払うのか。

答 これまで長年に亘りダム着工に至るまで、県と最上町と舟形町が一体となって取り組んで参りました。これからも、ダムが完成するまで皆で力を合わせて連携して見守っていきたくという趣旨から実行委員会を組織し、実施していくものです。

教育費

は町の必要個数を定めながら譲渡も考慮して将来的な在り方を検討し計画して参ります。

問 小学校再編に向けての考えを示されましたが、どの様な方向に向かっていくのか。又、放課後児童クラブは残されるのか。

答 当面は向町小学校と大堀小学校の2校に統合

し、将来的には町内1校への統合に移行していくべきと考えています。統合後の小学校の活用の一つとして地域の教育力を活用する意味では、放課後児童クラブは大変意義あることで、残す方向で考えています。

特別会計予算

最上病院事業

問 院長を先頭にスタッフ一丸となって進めていく福祉と医療の考えは？

答 町全体がホスピタルという考えのもとに、保健と医療と福祉の連携を密にして、町民の皆さんが安心して生活できる環境づくりを進めていきます。そのためにも、まずは出向くウエルネスとして、病院長はじめ関係職員が集落に積極的に出向いていきます。

農業集落排水事業

問 他の自治体で不適切な業務がありました。当町ではどのように委託管理されているのか。

答 施設保守点検、清掃管理を委託しています。毎年点検を行い確認していますが、今後、更に徹底していきます。

下水道事業

問 下水道計画更新業務の中身と、計画変更は毎年に行われるのか。

答 下水道法の改正に伴い、全ての事業体で変更計画の策定が必要となるもので、主に維持管理、調査点検、改築を行うための今後10年間の計画を定めるものです。

問 管の点検清掃は何年毎なのか。

答 計画では、管路等の

点検・調査はカメラを用い、5年に1回程度行うものです。

浄化槽事業

問 平成28年度は、何基設置されたのか。また、平成29年度は何基予定しているのか。

答 平成28年度は29基設置し、平成29年度は55基を予定しております。

問 目標とする普及率を達成するための考え方は、

答 浄化槽を設置する際、リフォーム事業などの住宅支援制度や、利子補給制度による経済支援があることや快適性、必要性を強く周知しながら、関係団体と連携して設置基数を増やすように努力して参ります。

平成28年度 一般会計補正予算

総務費

問 ふるさと納税支援業務委託料の減額の要因と委託先への影響は？

答 当初の目標額に届かなかった事による減額です。寄付件数に比例して発生する送料や書類作成料が主体となるので委託先への大きな影響はないと考えています。

問 太陽光パネルを利用した防雪柵事業の予算減額の要因は？

答 既存の防雪柵に太陽光パネルを設置するには耐久補強工事を行う必要があり、費用も多額のため今回は事業を断念しましたが、今後も模索していきたくと考えています。

民生費

問 福祉灯油購入費の減額された理由は。

答 冬期間の灯油購入助成事業のため、介護施設入所者や病院入院などで1カ月以上不在の世帯は除かれるために減額になっております。

問 広域保育委託料の内容は。

答 町に住所を有する児童が、町外の保育施設に入所する場合、係る費用については町が保育を委託する形となり、負担するものです。平成28年度は、2名の児童が該当しております。

農林費

問 農業振興費の減額補



あたごこども園の園児たち(未満児)



町政を問う 5 議員が一般質問

一般質問は、行政全般にわたる議員主導による政策議論であり、大所高所からの政策を建設的立場で議論し、効率的な会議運営が必要なことを十分理解し簡明で、しかも内容のある質問を展開するものです。



尾形 勝雄 議員

今までの一般質問の検証と対応は

町長答弁 町・町民全体で対応を進めている

質問 ふるさと納税による「寄付金」の活用を、どこに重点を置いて町の活性化に進めようとしているのか。「ふるさと納税」の進展状況や現在の対策と、今後の取り組みを問う。

答弁 最上町は子育て支援や若者の応援。健康と福祉などの政策の充実と併せて、ご寄付をくださった方への返礼として、地域の特産品でもてなし、産業振興にも貢献する形でふるさと納税制度を展開しています。

平成28年度の実績を見れば、1万5000人を超える方々から2億3000万円を超える応援があり、返礼品も最上町産のお米、最上牛、他にも最上早生のそば麵やトマトジュースなど農産物の加工品、山菜、ヤーコン焼酎、清流小国川の鮎等多様な品ぞろえとなっております。

平成28年度の実績を踏まえ、生産者と町が一体となって取り組みを行い、まちづくりをしっかりと発信することが、次の応援につながるものと考え事業展開して参ります。

多角的な施設の有効利用と、現在の検討状況と今後の取り組みを問う。

答弁 最上駅が無人駅になってから、幾度となくJR新庄駅に足を運び、駅舎活用についての相談を申し上げ協議をさせていただき、活用の一つとして、最上駅には駅舎本来の施設を有効利用しながら、乗車切符の委託販売業務ができるように協議を進めております。また、我が町には常時、人を配置し観光案内をしている所がないのが実態であります。訪れた観光客の皆様にご不便を



無人化となった最上駅

問 産地パワーアップ事業の減額補正の理由は、**答** アスパラガスの共同選果場の増設と選果機・予冷庫整備を行う事業になり、建設・設備等の入札結果による減額であります。

商工費

問 西公園施設維持修繕費と衛生施設設置工事は、どのような修繕・工事がされたのか。**答** 多目的グラウンド利用者のために、トイレの設置工事を行うものであります。

土木費

問 立小路の佐平橋の補修工事はどうなっているのか。**答** 平成29年度に設計を、平成30年度に補修工事の予定で計画しております。国庫補助の採択次第で遅



最上町立最上中学校

れることも考えられます。

教育費

問 地域未来塾ICT機器の進捗状況は。**答** 中学校にタブレットパソコンを教師用も含めて17台配置し、生徒の個別学習に活用しております。研修等を通じて習熟度を上げて、より効果的に活用して参ります。

特別会計予算

最上病院事業

問 医療機器整備の主な内容は何か。**答** 眼科視力検査機器、内視鏡ビデオスコープ、特殊浴場ストレッチャ等の更新であります。

下水道事業会計

問 浄化センター内に、残渣や資材の一時仮置場として利用されているが、安全管理面から大丈夫か。**答** 資材置き場の確保がなかなか困難であり、浄化センター内の敷地に仮置きしている状況です。しっかりと施設し、安全管理を徹底して参ります。

2月15日 臨時議会

地方創生拠点整備事業 1億7361万円 補正

問 公共の管理運営を考えた時に、類似施設が統合を要する時期を迎えるが、町の考えは。**答** 人口減少社会での施設の統廃合は、行政改革において町民と一緒に進めて参ります。

問 国の地方創生拠点整備事業の認定を受け、昭和37年建設の旧館部分の解体をし、最上町・赤倉の活性化を図って参りたい。**答** 地方創生拠点整備事業での、せんしん館管理運営は赤倉地区の総意を持って、NPOを設立してやっていくという話だが町の考え方は。

問 大規模改修として、どのような工事内容か。**答** 屋根、防水壁、エアコン、トイレとなっています。

問 太陽光パネルは設置しないのか。**答** 太陽光パネルについては、50%の補助になっておりますが、財源に限りがあります。よい補助制度があれば設置して参ります。

最上中学校校舎大規模改修第一期工事 1億8020万円



露天風呂建設予定のせんしん館中庭

英語教育と国際交流のこれから

町長答弁 方策や機会を積極的に模索しながら、英語学習や国際交流の充実に努めていきます



宮本 浩 議員

答弁 平成32年度の完全実施までの準備期間3年間で、英語教育推進委員会の立ち上げや先進地の視察、小学校の英語教育に造詣の深い指導者を招いての研修会を開催し、小学校の先生方のスキルアップを図っていきます。

質問 平成32年度から小学校5・6年生で英語が教科化になり、今後、更なる英語教育の低学年化や推進が求められてくるが、町の英語教育は、どう時代に対応し未来図を描いていくのか？

答弁 わが町では、も早くALTを取り入れ、昭和61年から今の先生で12代目になります。高い指導力のある人材が必要ですが、なかなかめぐり逢えないというのが現状です。地域おこし協力隊の制度を利用して、ALTをサポートできないか、ということも考えています。

質問 更なる英語教育環境の充実のためには、外国語指導助手（以下、ALT）の増員が必要だと思えますが、なぜ人材確保は進んでいないのか？

質問 英語教育の一環として、海外の学校とのインターネット中継での交流授業や手紙のやり取りなどの取り

答弁 現在、国際交流協会は主体となっていて、ブラジルのサンパウロFCとの交流事業があります。有名選手が最上町にホームステイをしてから今年で25年になるということで、これを契機に最上町とブラジルのホストタウン的な盟約をサンパウロ市と結べるように取り組んでいきたいと考えています。

質問 現在、当町では海外との姉妹都市提携はありませんが、提携することで文化、産業面などの交流も生まれるか？

質問 現在、国際交流協会の主体となっていて、ブラジルのサンパウロFCとの交流事業があります。有名選手が最上町にホームステイをしてから今年で25年になるということで、これを契機に最上町とブラジルのホストタウン的な盟約をサンパウロ市と結べるように取り組んでいきたいと考えています。



外国語活動の様子

町の検診でピロリ菌発見で胃癌ゼロをめざせ！

町長答弁 因果関係が実証すれば普及を検討



二戸 守 議員

質問 胃がんの99%がピロリ菌の感染であり、菌がなければがんにならないと言える。町の検診でも胃の精密検査必要者が、82人中22人でした。バリウムや胃力メラによる検診は抵抗があり、町の検診の中に検便や血液によるピロリ菌の検査を取り入れて、胃の病気をゼロを目指せないか。

答弁 町の胃がん検診はバリウムによる検査を実施しており、現在ピロリ菌検査のみは導入しておりません。ピ

大堀小学校前の道路を大型車進入禁止・スクールゾーンに要望

質問 学校前の道路は道幅も狭く

ネット販売による宅配車も増え、カーナビが案内をし、登校中の児童に車が突っ込んだり、高齢ドライバーによる事故も社会問題です。地区の要望もあり、事故の起きる前に大型車進入禁止、時間規制のスクールゾーンにするべきでないか。

ロリ菌の除菌後も胃がん検診は必要と言われており、町では胃がん検診を基本にピロリ菌の研究が進み因果関係が実証された場合は、ピロリ菌検査の普及を検討して参ります。

答弁 登校時に国道に交通指導員を配置し、「見守り隊」の協力を得ております。

スクールゾーン等の設定は学校や地域からの要望・要請により、自治体住民や警察と充分協議して設置するものと考えます。一度設定されると交通違反の対象になるため十分慎重に行わなければならないと考えます。

現在、学校と地域が通学路の確保に取り組みんでおり、町が支援



元気に育ってもらいたい子どもたち

することで、安全な通学路を確保したいと考えています。子どもを含めた高齢者等の交通弱者に対する交通事故防止について、地域や学校と充分連携して取り組んで参ります。

地方創生の中で地域力を高める民主主義・対話の考え方について



佐澤 浩 議員

町長答弁 尚一層の丁寧な町づくりに邁進していく

質問 限られた財源をより効果的な政策に配分するために、「あれも、これも」では無く、「あれか、これか」という「選択と集中」を行う必要があります。その根拠は、一層深く問われます。その解決の糸口は、民主主義の対話から生まれる納得という情報公開であります。個人の価値を認め合い、話し合いにより納得を積み重ねていく営みこそが、民主主義だと考えます。対話により地域の中に関係性が出来れば、覚悟が生ま

答弁 議員の言われる民主主義の根幹としての対話は、地方創生の取り組みの過程において重要であるばかりで無く、まさしく我が町の町づくりの理念である自治協働の根幹を形づくるものであります。人口

減少社会の到来に起因する財政問題一つ取っても、町と町民の皆さんとの対話、更には町民の皆さん同士による対話が本当に重要であり、対話が納得を生み出し、納得が自らの行動を生み出すと言つ、議員の言葉そのものにつながつて参るものと考えます。町は丁寧な公聴活動をを行うと共に、丁寧な情報公開に努めなければなりません。その事が納得を得る大切なプロセスと捉えるところでは、最上町総合戦略を筆頭とする施策を、町民の皆さんとの対話の中で展開し、協働と参画が更に拡大して行くなら



多面的機能支払交付金説明会

「人口減少危機」に町の向かう先は



渡邊 英俊 議員

町長答弁 施策目標の達成に努力を重ねる

質問 国全体がさらされていく「人口減少危機」に対し、この最上町はどのように立ち向かって行くのか。

答弁 現在、国・地方挙げて進める「地方創生」そのものが人口減少対策です。当町も昨年度「最上町総合戦略」を策定する中、「将来人口ビジョン」も練っております。2040年、今から23年後の推計として、「日本創生会議」は最上町の人口を5001人と予想していますが、当

質問 社会のグローバル化、東京一極集中に対する地方の衰退、国民の価値観の多様化等に起因する従来の家族主義から個人主義への移行が進む中、個人と家族との「バランスの再構築」を目指す取り組みは、

答弁 議員が列挙します。今の日本を取り巻く社会情勢の変化は、人が生涯をどの様な形で営んで行くのかという、根元的な課題を提示しているものと思えます。まさしく急激な社会情勢

の変化や、個人主義とも言える価値観の多様化は、日本社会の基盤を揺るがす事態に立ち至ってしまっているのではないのでしょうか。日本が歩んできた長い歴史の中で、個人が尊ばれる意義は一義的に重要と捉えます。そうした中において、家族を持つて豊かにこの町に暮らし続けるために、「最上町総合戦略」を展開しながら、基盤作りと支援を徹底して参りたいと考えます。自信と



放課後児童クラブ

町が目指す町の人口は約6000人であり、この目標の達成に向けて総合戦略を着実に実践し、自信と誇りを大切に育む最上町の実現に向けて、努力して参ります。

誇りを持ってこの町で豊かに暮らすことが出来る環境の創出無くして人口減少危機は対策され得ぬ物と捉えます。町の総合戦略を筆頭に、その取り組みに邁進して参ります。

誇りを持ってこの町で豊かに暮らすことが出来る環境の創出無くして人口減少危機は対策され得ぬ物と捉えます。町の総合戦略を筆頭に、その取り組みに邁進して参ります。

【請願・陳情】

請願	請願者	紹介議員	所管委員会	結果
前森1地区内歩道新設に関する請願	前森1区 区長 菅原 秀一	石原 英一	産業厚生常任委員会	採択
「農業者個別所得補償制度」の復活を求める」請願について	山形市大字門伝字裏城 農民運動山形県連合会 会長 小林 茂樹 最上町大字大堀 313 最北地方農民連 会長 二戸 正	石原 英一	産業厚生常任委員会	継続

議会傍聴 最上校生 2年 土谷 智さん 3年 菅 孝明さん 3年 越後惟吹さん

上町に住むこ
活ができ、最
私達が今の生
る姿を見て、
質疑をしてい
ながら様々な
に試行錯誤し
良くするため
最上町をより
方々は、日々、
また、議員の
どの参考になり
で生徒の前で話
の参考になりました。
また、議員の
方々は、日々、
最上町をより
良くするため
に試行錯誤し
ながら様々な
質疑をしてい
る姿を見て、
私達が今の生
活ができ、最
上町に住むこ



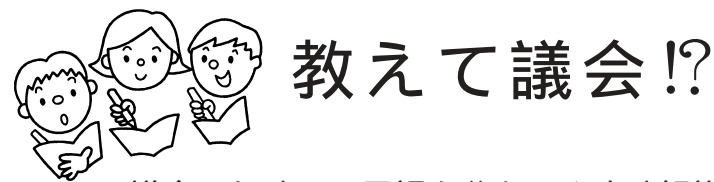
(左から)土谷さん、菅さん、越後さん

議会傍聴に参加した3名の生徒さんから感想文をいただきました。紙面上全文を記載できませんので一部をご紹介します。

先日は、貴重な体験をさせていただきまして、初めて議会傍聴に少し緊張しましたが、議員の方々の発言を聞いて、簡潔であり内容は誰が聞いても分かりやすく伝える事に大変勉強になりました。

このことは、生徒会で生徒の前で話す時などの参考になりました。また、議員の方々は、日々、最上町をより良くするために試行錯誤しながら様々な質疑をして、私達が今の生活ができ、最上町に住むことができるのは、この議会があるからだと知り、改めて最上町は本当に素晴らしい町であると大変感動いたしました。

今日、最上町議会を傍聴し、議会にとても興味がわいてきました。是非、機会があればまた参加したいと思っています。



議会のしくみ、用語を分かりやすく解説!!

■ そもそも請願と陳情ってなに？

国や県、町の仕事について、要望や意見があるときは、誰でも請願書や陳情書を議会に提出することができます。請願と陳情の大きな違いは「紹介議員」の有無です。請願書を提出する際は、必ず紹介議員が必要になり、陳情書の場合は必要ありません。文書は形式が整っていれば、いつでも提出でき、提出後は議会運営委員会で取扱いを諮ります。本議会での審議が必要な場合は各常任委員会で審査され、採択・不採択の結論を出します。議会全体として採択された請願、陳情については、その経過と結果について執行機関から報告をもらうなどして、最後まで責任を持ち続けます。



【最上広域市町村圏事務組合議会】

平成 29 年度予算 31 億 5000 万円 内 最上町分担金 3 億 2206 万円

■ 平成 29 年主要事業の概要

- 看護師育成修学資金事業（事務費）
【新規】看護師確保対策費 10 万円
* 最上 8 市町村と連携をして、看護師育成最上地域修学資金制度を実施するもの
- エコプラザもがみ基幹的設備改良事業
【新規】エコプラザもがみ費 2 億 2680 万円
* 特に劣化が著しい排ガス処理設備、コンベヤ類等を平成 29 年度から 30 年度の 2 力年計画で更新し、長期的な延命化をはかるもの。
- リサイクルプラザもがみ浸出水処理施設調整槽防食塗装修繕事業
【新規】リサイクルプラザもがみ費 3537 万円
* 稼働から 19 年を経過した調整槽は劣化が著しいことから調整槽の防食塗装修繕を実施し、施設の延命化をはかるもの
- もがみクリーンセンター予備貯留槽設置工事業
【新規】もがみクリーンセンター費 9900 万円
* 予備貯留槽を設置し、今後約 20 年（稼働から 40 年）を目標とし、施設の延命化を図るもの
- 消防施設整備事業（水槽車・ポンプ車更新事業）
【新規】消防、消防施設整備事業費 1 億 721 万円
* 計画的な更新整備により消防力の充実強化を図り住民の安心、安全を守るもの
- 旧消防署西支署庁舎解体工事業
【新規】消防、施設整備事業費 766 万円
* 消防庁舎を新築移転したため土地を原状に復し返還するもの
- 教育研究センター算数・数学スーパーバイザー配置事業
【継続】教育研究センター費 1156 万円
* 前年度に引き続き、教育研究センターに算数・数学スーパーバイザーを配置し、各学校の授業改善を強く推し進めていくことで、最上地区小中学校の学力の向上をめざす



エコプラザもがみ

新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する特別委員会中間報告

特別委員長 佐藤 義男

昨年、5月の臨時議会で特別委員会を設置されたから11回の研修会及び勉強会を開催した。町立病院はこれまで一般会計からの繰入金などによる補填で経常損益を黒字化してきたが、今後の人口減少社会の財政状況を予測すると、一般会計からの補填にも限界があるため、この状態が続くようであれば病院の縮小・廃止も検討しなければならぬ大変厳しい経営状況である。

また、平成30年からの診療報酬・介護報酬改定では在宅復帰率が大きく経営を左右することになるので、病院改革に向かって町・議会・町民が一致協力して実行できるものは今年から即、実行すべきである。

最終目的である「町民の安全・安心のセイフティーネットを実現すること」を再確認しながら中間報告とする。

▶ 里山再生ふるさと塾講演

議 会 の 動 き



最上小国川特別委員会 県庁訪問



三者懇談会 農林水産省からの講師



せんしん館内部視察



次回の定例会は6月です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362

【月毎の主な日程】 1月～3月の活動日数 53日

〔 1 月 〕	
5-6日	年末年始休業明けの交通安全早朝街頭指導
6日	議会運営委員会 賀詞交換会
8日	町消防団出初式
12日	新庄・湯沢地域間高規格道促進中央要望会
13-15日	山形県中学校スキー大会アルペン競技会
18日	全員協議会 1月臨時会 本会議 産業厚生常任委員会
18日	新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する特別委員会
22日	最上ユナイテッドFC全国大会出場報告会
25日	町小体連スキー競技大会
〔 2 月 〕	
2日	最上町農業振興協議会総会 全国中学校スキー大会アルペン競技会開会式
3-5日	全国中学校スキー大会アルペン競技会(赤倉温泉スキー場)
4日	赤倉温泉お柴灯まつり
8日	教育懇談会(富沢小学区)
9日	全員協議会 町観光協会新春研修会 病院経営改革懇話会
12日	もがみ赤倉クラシカルスキー大会開会式
14日	県町村監査委員協議会定期総会、研修会 最上県勢懇話会公開例会
15日	全員協議会 2月臨時会 本会議 教育懇話会(赤倉小学区)
16日	最上小国川流域の治水・利水・活性化促進に関する特別委員会
17日	最上地方町村議会事務局長会議
19日	大堀地区鍋まつり
20日	東法田老人クラブと議員の懇談
21日	最上地方町村議長・副議長合同会議
22日	最上広域組合議会 議員懇談会
23日	農業委員・JA理事・議会議員三者懇談会幹事会
24日	議員懇談会 新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する特別委員会
27日	議会運営委員会 全員協議会
〔 3 月 〕	
3日	新庄北高最上校卒業式 新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する特別委員会
7日	全員協議会 3月定例会(～17日)
9日	地域おこし協力隊活動報告会
10日	子ども研究会実践報告会
16日	最上中学校卒業式 最上広域組合議会、議会運営委員会
18日	町内小学校卒業式
23日	最上町土地改良区通常総代会 最上広域組合議会3月定例会
24日	議会広報編集委員会 農業委員・JA理事・議会三者懇談会
25日	町内こども園・保育所・幼稚園、卒園式・修了式
28日	全員協議会 赤倉温泉町内会役員との懇談会
30日	3月臨時会 本会議 議会広報編集委員会

誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載



議員会議室にて編集会議

- 【発行責任者】 菅 俊郎
 議長
 【広報編集委員会】
 委員長 二戸 守
 副委員長 大沼正視
 委員 佐澤 浩 橋本 浩正
 尾形勝雄 宮本 浩

編集後記

この議会だよりが皆様へ届く頃には入学式・入社式も終わり、町行政も新年度としてスタートしていると思います。議会も新年度に向けた予算審議の中で、いろいろと質疑されました。この先、益々進んでいく人口減少の中、公共施設の維持管理や統廃合を進め、町民も行政に対し要望ばかりでなく現在の状況を理解していただき、町民の代表として将来に不安を残さないために町政運営をしなければならぬと強く感じた3月定例会でありました。(二戸守)